

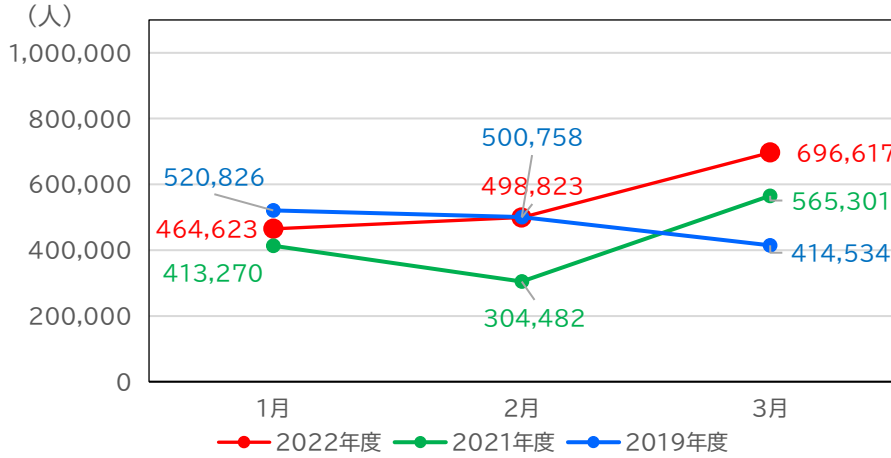
# 大分県観光予報観光動向レポート 2月号

対象都市	大分県	集計対象期間	2023年1月～2023年3月（3か月間）
比較対象都市	福岡県・長崎県・熊本県	比較対象年度	2021年度（前年）、2019年度（コロナ前）

## 大分県の宿泊動向

### ■宿泊者数の推移

[2023年1月～2023年3月の宿泊者数（大分県 実績・予測）]



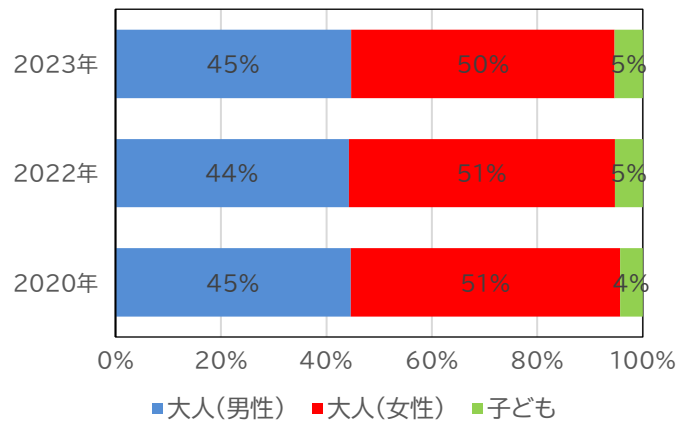
2月宿泊実績：498,823人  
（1月時点2月予測：473,576人）

3月宿泊予測：696,617人

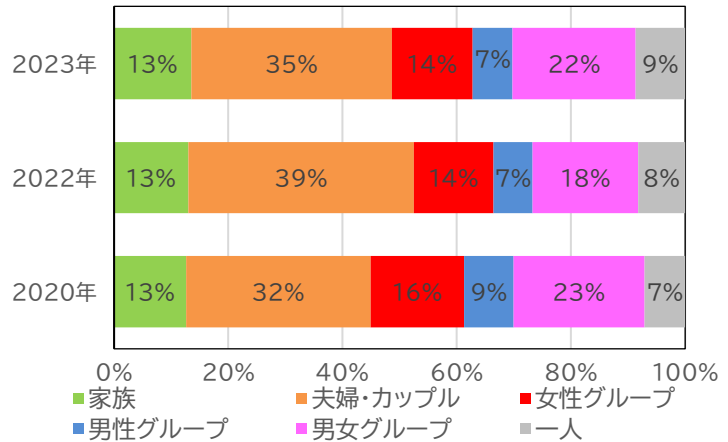
前年比（2月）  
64% 増  
2019年度比（2月）※コロナ前  
0% 減

### ■宿泊者属性の動向

[大人・小人の別（2月）]



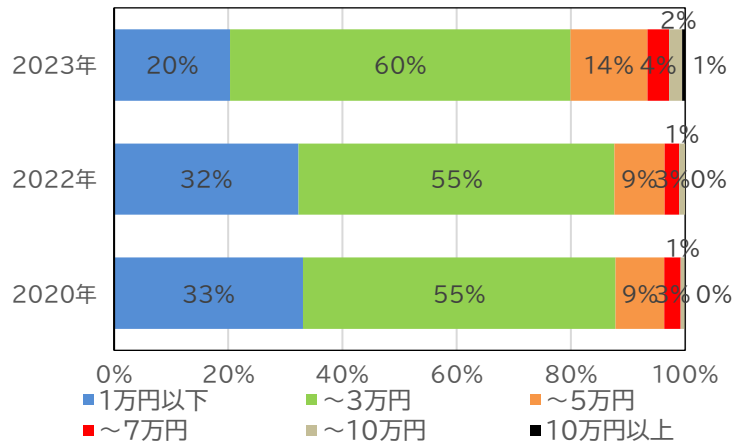
[同伴形態の別（2月）]



[当期宿泊者の居住地ランキング（2月）]

国内						
1位	福岡県	98,615	21%	6位	埼玉県	18,213 4%
2位	東京都	49,608	11%	7位	兵庫県	16,725 4%
3位	大分県	38,910	8%	8位	愛知県	16,686 4%
4位	大阪府	35,967	8%	9位	熊本県	14,309 3%
5位	神奈川県	30,570	7%	10位	広島県	14,004 3%

[一人あたり宿泊購入額（2月）]



[市町村別の宿泊者数ランキング（2月）]

市町村名	宿泊者数 (人)	前年比 (増加率)	2020年比 (増加率)	市町村名	宿泊者数 (人)	前年比 (増加率)	2020年比 (増加率)
1 別府市	271,296	74.9%	5.6%	10 佐伯市	675	-14.8%	-45.7%
2 由布市	142,987	56.2%	-5.6%	11 宇佐市	656	97.6%	24.7%
3 大分市	50,525	83.9%	14.8%	12 豊後高田市	450	111.3%	34.7%
4 日田市	11,424	25.3%	-20.9%	13 臼杵市	262	116.5%	-
5 日出町	6,158	-12.2%	-44.0%	14 豊後大野市	252	64.7%	5.9%
6 九重町	5,608	40.1%	-11.3%	15 津久見市	104	-14.8%	-45.8%
7 中津市	4,071	5.4%	-32.7%	16 杵築市	-	-	-
8 竹田市	3,662	-11.6%	-43.6%	17 姫島村	-	-	-
9 国東市	693	51.0%	-3.1%	18 玖珠町	-	-	-

### 考察

#### 【大分県の宿泊動向】

- ・2023年2月の宿泊者数は、大分県でもまん延防止等重点措置が発令された前年同月比は64%増となり、コロナ禍前の2020年同月とほぼ同じ水準となった。
- ・宿泊者の属性を見ると、2023年は全国を対象とした旅行支援などの影響もあり宿泊単価が高い傾向にある。
- ・大分県宿泊者の居住地は、福岡県在住者が21%と引き続き多くを占めているが、次いで東京都が11%、大阪府が8%と都市部からの宿泊が多くなっている。

出典：観光予報プラットフォーム

レポート発行日：2023/3/23(データ更新日：2023/3/15)

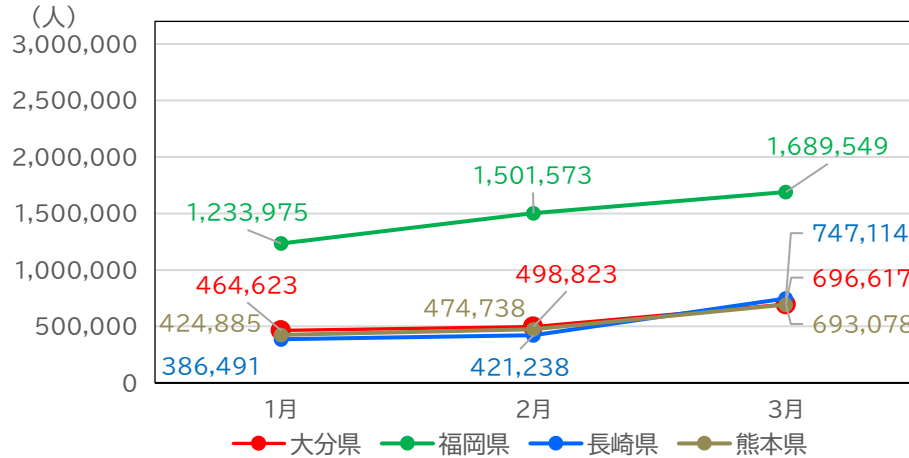
※2023年3月以降の数値は現在の予約状況及び過去の動向を踏まえた推計値です。予約数の増減に応じて随時値は変化します。

また、2022年の実績値についてはキャンセル値を随時反映しているため、数値が変化する可能性があります。

### 比較対象都市との比較（1月～3月の宿泊動向）

#### ■宿泊者数の推移の比較

[2023年1月～2023年3月の宿泊動向（隣県比較）]



【各県前年比（2月）】

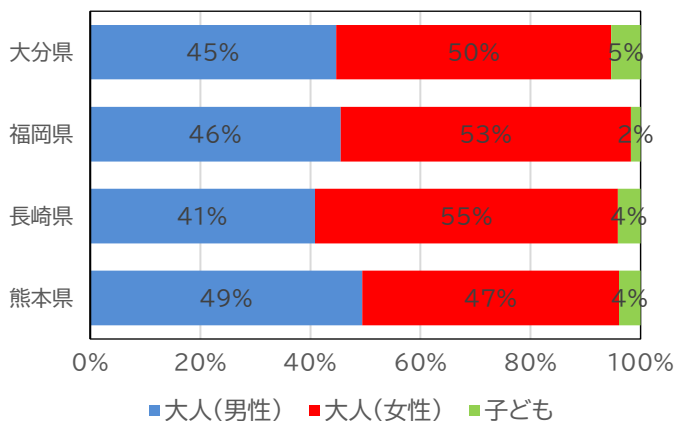
大分県： 64% 増  
 福岡県： 116% 増  
 長崎県： 62% 増  
 熊本県： 59% 増

【各県2019年度比（2月）】

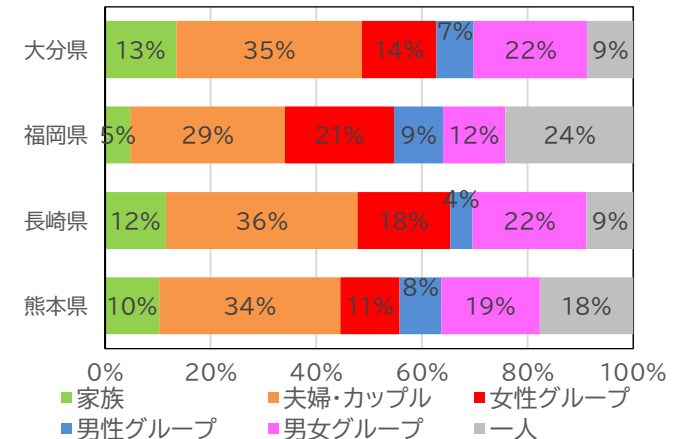
大分県： 0% 減  
 福岡県： 13% 減  
 長崎県： -9% 減  
 熊本県： -4% 減

#### ■宿泊者属性の動向比較

[大人・小人の別（2月）]



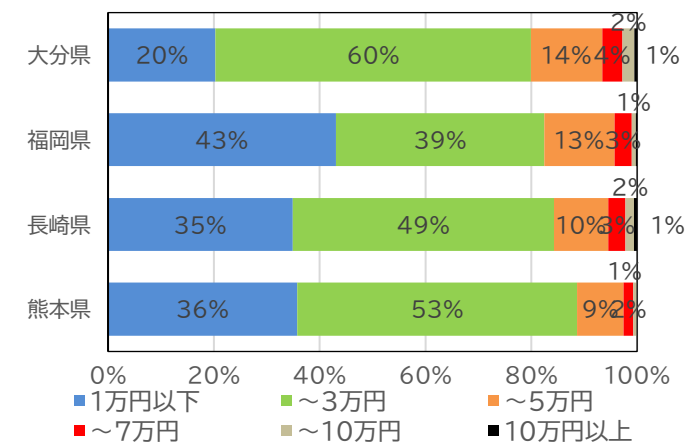
[同伴形態の別（2月）]



[各県宿泊者の居住地ランキング（2月）]

大分県		福岡県	
1位	福岡県 98,615 (21%)	東京都 183,995 (13%)	
2位	東京都 49,608 (11%)	大阪府 137,069 (9%)	
3位	大分県 38,910 (8%)	福岡県 112,433 (8%)	
4位	大阪府 35,967 (8%)	神奈川県 96,604 (7%)	
5位	神奈川県 30,570 (7%)	兵庫県 76,489 (5%)	
長崎県		熊本県	
1位	福岡県 71,262 (17%)	福岡県 83,818 (18%)	
2位	東京都 46,686 (11%)	東京都 55,221 (12%)	
3位	神奈川県 36,392 (9%)	熊本県 50,761 (11%)	
4位	大阪府 26,523 (6%)	鹿児島県 26,775 (6%)	
5位	埼玉県 21,894 (5%)	神奈川県 25,322 (6%)	

[一人あたり宿泊購入額（2月）]



#### 考察

##### 【比較対象都市の動向】

・比較対象都市の2月の宿泊者数の動向としては、全国的にオミクロン株の感染が拡大しまん延防止等重点措置が発令されていた前年同月比は増加している。一方、コロナ禍前の2020年2月比は長崎県、熊本県は微減となった。

・宿泊者の属性をみると、大分県は各県と比べて子供を含む家族での宿泊が多く、宿泊単価も1万円以上の割合が高い傾向にある。

・各県宿泊者の居住地としては、福岡県を除く大分県・長崎県・熊本県はいずれも福岡県からの宿泊者が一番多いが、全国旅行支援が再開したことなどから各県ともに九州外の都市部からの宿泊者が多く、特に東京都、大阪府、神奈川県からの宿泊が多い傾向にある。